

## 「奈良のシカ保護管理計画検討委員会」設立の経緯

### (1) 鹿のあり方検討会（平成 20 年～）

文化財保護法に基づく国指定の天然記念物「奈良のシカ」は、国際文化観光都市奈良のシンボルであり、世界に類例のない貴重な存在である。鹿の生息環境が悪化する中、「奈良のシカ」を保護育成し、将来に渡って国際文化観光都市奈良との共生を図り、観光・環境保全・環境教育にも資する鹿苑を含む鹿のあり方について検討するもの。

#### 《背景》

奈良のシカは、戦後から 1980 年代にかけて急激に頭数が増加し、奈良公園周辺において農業被害等がひろがっている。また、奈良のシカは国の天然記念物に指定されており、「奈良県ニホンジカ保護管理計画」の対象からも外れている。

それを踏まえ、奈良のシカの保護管理の方針、及び、奈良のシカに関する様々な課題を有識者・関係者で議論する場として設立したもの。

### ■鹿のあり方検討会の主な検討事項

#### 人と鹿との共生に係る事項

- ・保護区域(別添エリア図参照。CDエリアは頭数管理を検討)
- ・農作物被害防止の鹿柵設置検討
- ・人身事故に対する損害賠償責任保険等を検討。

### ■鹿のあり方検討会 名簿

	出席者	
有識者	奈良教育大学	松井 淳 教授
		鳥居春己 教授
		渡邊伸一 准教授
関係機関	春日大社	
	(財)奈良の鹿愛護会	
	奈良公園のシカ相談室	
	奈良市	観光経済部
		観光振興課
		文化財課
		農林課
	奈良県	文化財保存課
		農業水産振興課
		森林整備課
		奈良公園室

### (2) 奈良のシカ保護管理計画検討委員会の設立

「鹿のあり方検討会」で議論されてきた様々な課題につき、有識者・関係者による議論を行い、奈良の鹿が今後も末永く人と共生し、奈良公園で幸せに暮らしていくための保護管理計画を策定する。

- ・鹿の保護に向けた人と鹿との正しい共生のあり方の検討
- ・農業被害軽減のための計画的防鹿柵設置及び効果検証
- ・鹿を取り巻く生育環境の改善

等、これまで管理主体がいなかったために積極的な対策を講じて来なかった様々な課題につき議論を行う。

# エリア図

